

茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンの一部変更について

(1) KPI 変更 (案)

事業名	変更前			変更後		
事業No.1 診療所情報共有・啓 発事業	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	健康セミナー参加 者数	0人 (2016年度)	延べ750人 (2021年度)	健康セミナー参加 者数	0人 (2016年度)	延べ325人 (2021年度)
	健康セミナー参加 者満足度(5点満 点)			健康セミナー参加 者満足度(5点満 点)	平均4.3点 (2017年度)	平均4.5点 (2021年度)
事業No.15 周遊型観光の推進事 業	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	周遊イベント(水戸 八景グルメライド を想定)の県外参加 者率	36% (2015年度)	45% (2021年度)	周遊イベントの県 外参加者率	36% (2015年度)	45% (2021年度)
	周遊ツアーの造成	0本 (2016年度)	8本 (2021年度)	周遊ツアーの造成	0本 (2016年度)	8本 (2021年度)
	周遊ツアーの造成	0本 (2016年度)	8本 (2021年度)	周遊ツアーの集客 数	1,720名 (2018年度)	3,000名 (2021年度)

事業名	変更前			変更後		
事業No.20 公共交通の維持・確保	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	水戸市と近隣市町村を結ぶ路線バスの1日当たりの利用者数	8,657人 (2015年度)	9,100人 (2021年度)	水戸市と近隣市町村を結ぶ路線バスの系統数	88系統 (2015年度)	85系統 (2021年度)
事業No.21 公共交通の利用促進	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	ノーマイカーウィークに参加した事業者数	97事業所 (2016年度)	200事業所 (2021年度)	水戸市と近隣市町村を結ぶ路線バスの1日当たりの利用者数	8,657人 (2015年度)	9,600人 (2021年度)

(2) 地域公共交通分野事業計画変更(案)

事業 No.	20					
事業名	公共交通の維持・確保					
連携する市町村名	全市町村					
根拠とする協定の規定	圏域住民の日常生活や経済活動に必要な移動手段を確保するため、圏域の公共交通の課題解決策について、調査・研究を行うとともに、公共交通の維持・確保及び利用促進に係る取組を推進する。					
事業概要	公共交通空白地区等において、補助金に頼らない路線バスの運行を見据え、水戸市と近隣市町村が連携して、地域公共交通を社会実験として導入する。効果的に沿線住民にPRすることにより、需要を創出し、そのニーズを把握するなど効果の検証を行うことで、交通事業者による路線バスの本格運行を先導する。 また、近隣市町村で運行している地域公共交通の水戸市内への域外運行についても、住民ニーズを把握しながら実施する。					
事業効果	公共交通空白地区を解消し、住民の通勤・通学、通院、買い物等の移動手段を確保する。					
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	水戸市と近隣市町村を結ぶ路線バスの系統数	88系統 (2015(平成27)年度)		85系統 (2021(令和3)年度)		
事業スケジュール	事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	先行事業の実施(城里町)	→				
	事業の需要調査(笠間市)	→				
	域外運行の実施(那珂市)			→	→	→
	事業実施の検討	→				
概算事業費 (千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
	25,380	20,380	22,000	22,000	22,000	111,760
役割分担及び費用負担の考え方	(補助事業等の名称, 補助率等)					
	水戸市	水戸市と近隣市町村とを結ぶ地域公共交通の導入及び近隣市町村が運営する地域公共交通の水戸市内への運行について検討するに当たり、中心的な役割を担う。また、事業に必要な費用について、応分の負担をする。				
	近隣市町村	水戸市へアクセス可能な地域公共交通の導入及び住民ニーズを把握しながら各市町村が運営する地域公共交通の水戸市内への運行の検討を行う。また、事業に必要な費用について、応分の負担をする。なお、当該費用については、水戸市及び事業を実施する市町村が負担するものとする。				